

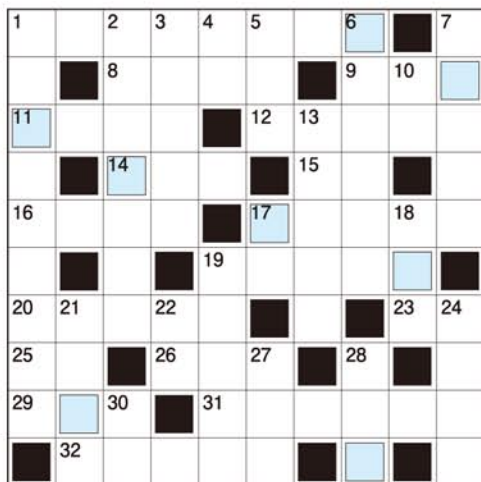


クロスワードタイム

明けましておめでとうございます。皆様にとってより良い年になりますよう祈念いたします。
二重枠の文字を並び替えると答えが出ます。答え、郵便番号、住所、氏名、加盟組合、Compass の感想を記入し、はがきかメールでご応募ください。正解者の中から抽選で 30 名様にクオカードを贈呈します。

■メ切：2月28日(金) ■宛先：mail → info@nikkenkyo.jp はがき → 〒169-0075 新宿区高田馬場1-31-16 ワイム高田馬場ビル3F 日建協クロスワード係

ヒント：2025年に開催される
国際イベントです。



ヨコのカギ

- 好きな写真や絵、記事、メモをノートやアルバムにまとめて、後で見返すことができる。
- 人に商品やサービスを紹介して、買ってもらうための活動。
- 植物が春や初夏に新しく出す、明るい緑色のはっぱ。
- 誰かがアイデアや技術を発明したとき、他の人が勝手に使えないようにするための特別な権利。
- 水辺に住んでいて、大きな体を持ち、低くて大きな声でモーモー鳴く。環境省の重点対策外来種に指定。
- イタリア語で家という意味。家族や自分が生活するための場所。
- アメリカ合衆国の州。赤い岩、砂漠や大きな塩の湖が有名。
- 人がたくさん集まっていて、もうそれ以上は入れない状態のこと。
- 生きている化石のひとつでもある軟体動物。殻は渦巻き状で、硬く、多くの仕切りがある。
- 相手のことを心配して、必要以上におせっかいを焼くような気持ちや行動。
- 宮城県の北東部にある港町。漁業がとて盛んで、メカジキ、カツオやサンマなどが有名。
- 交友関係が幅広い様。「〇〇」が広い。
- 二つで一組となるもの。
- 大きなスクリーンに映像を映し出し、音や映像を通して物語や情報を楽しむ。
- 岩手県にある町で、昔から伝わる不思議な話や民話で有名な場所。
- 学校に通う生徒たちを、家から学校まで送り迎えするための特別な交通手段。
- 泳ぎが苦手な人や安全を確保したいとき、空気を入れて膨らませて使う物

タテのカギ

- 食べ物や日用品など、生活に必要なものを選んで、カゴに入れて買う大きな店。
- スペースが限られた場所やデザイン性を重視した建物で、ぐるぐる回りながら移動する。
- 二つの異なる色が使われているデザイン。
- 何かを自分の方に引っ張る動作を意味する英単語。
- 新聞や本がどれくらい作られているかを表すときに使う言葉。
- 夏になると見かける、大きなハサミのような夏を持つ人気の昆虫。
- 「四季」を作曲したイタリア出身の有名な作曲家。
- 今使っているものを新しいものにするため用意された、同じ種類の別のもの。
- 最後に近づいている時期や段階。
- 国や地域を統治する最高の立場にある人物。
- 目に関する病気や問題を診察・治療する医療分野。
- 中世ヨーロッパで発展した建築や美術のスタイルで、この後にゴシック様式が登場した。
- 歴史的に文化や政治の中心地で、ヨーロッパの西側の地域。
- 山や川などに古くからすみ、霊力があると信じられている動物。山の「〇〇」、川の「〇〇」。
- 日本の伝統的な食べ物で、ご飯を手で握って作る、三角や丸い形の料理。
- 広い視野で全体像を把握したいときに使われる考え方。
- キューバやブルネトリコの音楽に影響された、ダンス音楽のスタイル。
- 雨の日は濡れにくくし、晴れの日は陰で涼しくする、屋根の一部。

Vol.834クロスワード 正解と当選

答えは「エッフェルトウ」でした。



多数のご応募ありがとうございました。
当選者の方々にクオカードをお送りしました。

車塚美知子、千葉美穂子 (アサヌマ)、
池田貴史、戸察章代、山野真邦 (奥村)、小島陽平 (佐藤)、
細山輝明 (シミズ)、池内明音 (鉄建)、
青木めぐみ、上田一陽、岡橋侑也、越野康成、佐藤さゆ里、
菅井早紀、田中里佳、松本浩和、渡邊麻衣香 (東洋)、
五十嵐未来、岩切佳代子、高橋篤、長野見基、松永勝美 (戸田)、
勝見嘉人 (JS)、峯純子 (ピーエス)、
清水実香、鈴木智筆、高橋潤子、寺田将人、東田雅夫 (松村)、
中野礼子 (丸彦渡辺) <敬称略>

編集後記

加盟組合員の皆さん、新年明けましておめでとうございます。本年も組合活動含めてどうぞよろしく願っています。
今号は加盟組合会社訪問、建設業みらい共創会議、賃金交渉、BWIAアジア太平洋地域大会など盛りだくさんの特集記事を掲載しています。なかでも加盟組合会社訪問では、2024年4月から建設業に適用された時間外労働の上限規制の対応や休日・休暇取得の取り組み、人材育成制度について、皆さんと多くの意見交換をさせていただきました。私は北海道から大阪までの9社に訪問させていただきましたが、各社の先進的な取り組みはもとより、普段なかなか話をするのできかない企業経営者の皆さんと有意義な話ができたとや加盟組合執行部の皆さんともコミュニケーションが取れたことは大変貴重な経験となりました。意見交換させていただいた情報については、この機関誌「Compass」や日々の日建協活動などにて加盟組合の皆さんに共有し、より有益なものとなるよう、今年も組合活動により一層取り組んでいきたいと思っております。

機関誌「Compass」は加盟組合員の皆さんに日建協活動への理解を深めていただくための重要な広報媒体です。今後も皆さんのニーズや時勢に応える機関誌となるよう工夫してまいりますので、引き続き変わらぬご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。

船い

現在のストレス社会を生き抜くためには「気分転換」が重要です。私の気分転換方法は「読書」と「自然の中での散歩」です。一見、全く異なる二つの活動のように思えるかもしれませんが、私にとってはどちらも自分の心と向き合い、リフレッシュするための大切な時間です。

まず読書についてですが、私は小説やビジネス書、時には歴史書まで、ジャンルを問わず本を手に取ります。特に心惹かれるのは、日常から少し離れた非現実的な世界を描いた物語です。忙しい現実の中で、ふと違う世界に飛び込むことで、まるで冒険をしているかのような気分になれるのが魅力です。登場人物の感情に共感し、時には彼らの成長を見守りながら、自分自身も学びを得るのです。本を読むことで自分の考えや価値観を広げられるのも、読書の醍醐味だと感じます。

また、自然の中を散歩することも私にとって大事な気分転換方法のひとつです。都会の喧騒から離れ、木々のざわめきに耳を傾けながら、ただひたすら歩く時間は、心をリセットする絶好の機会です。私にとって自然の中での散歩は、頭を空っぽにし、五感を研ぎ澄ませる時間でもあります。特に季節ごとの風景を感じながら歩くのが、私の心の癒しとなっています。

この二つの趣味には共通点があります。それは、自分と向き合う時間を持つことです。読書では物語を通じて自分自身の考えや感情を見つめ直し、散歩では自然と一体になりながら、日常の中で忘れがちな自分の心の声を聞くことができます。

このようにして、私は読書と自然の中での散歩を通じて、心のバランスを保ち、日々の生活に新たなエネルギーを得ています。みなさんも、自分だけの「気分転換」の方法を見つけてみては。(チェンジオブベース)